

Lake Controller パッチリリース v7.0.7 ではハードウェアのアップデートに必要なファームウェアも含まれます。

修正箇所の詳細は [Lake Controller リリースノート](#) をご確認ください。

<追加機能について>

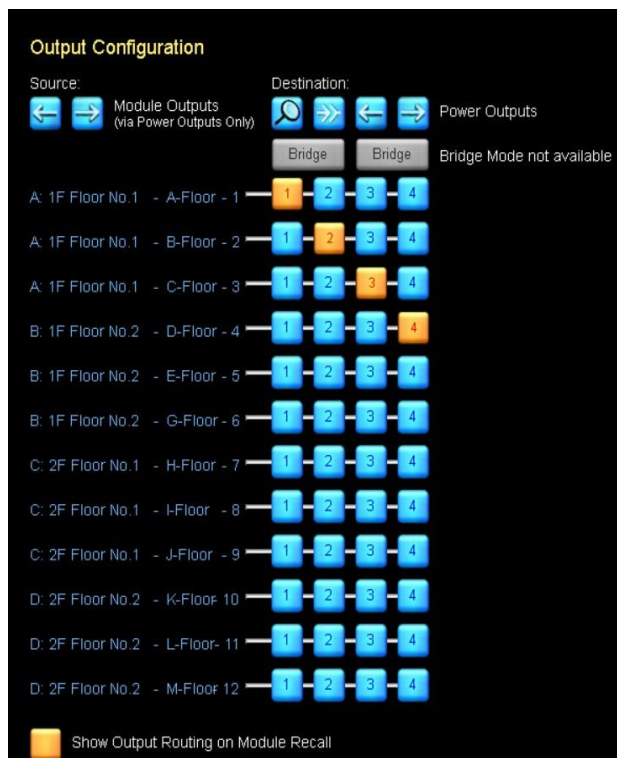
PLM+ / D シリーズの DSP チャンネル(Module アウトプット)から他の Dante 製品にオーディオルーティングができるようになりました。Lake Controller v7.0.6 までは PLM+ / D シリーズの Module アウトプットはパワーアウトプット以外で使用できませんでしたが、v7.0.7 では Dante 経由で接続されたアンプのプロセッサとして使用することができるようになりました。

例えば、PLM シリーズや D シリーズを使用する際に Dante アウトプットを使用することで最大 12ch のアウトプットをコントロールできます。

I/O Config Xover/Aux - Design Levels - Design PEQ - Design GEQ - Design BLEQ - Design													
	Module	A - 1F Floor No.1			B - 1F Floor No.2			C - 2F Floor No.1			D - 2F Floor No.2		
	Channel	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	Output Channel Label	A-Floor	B-Floor	C-Floor	D-Floor	E-Floor	G-Floor	H-Floor	I-Floor	J-Floor	K-Floor	L-Floor	M-Floor
High Pass	HPF Freq (Hz)							30.0					

(参考例) パワーアンプ側 4ch & Dante Output 8ch 計 12ch

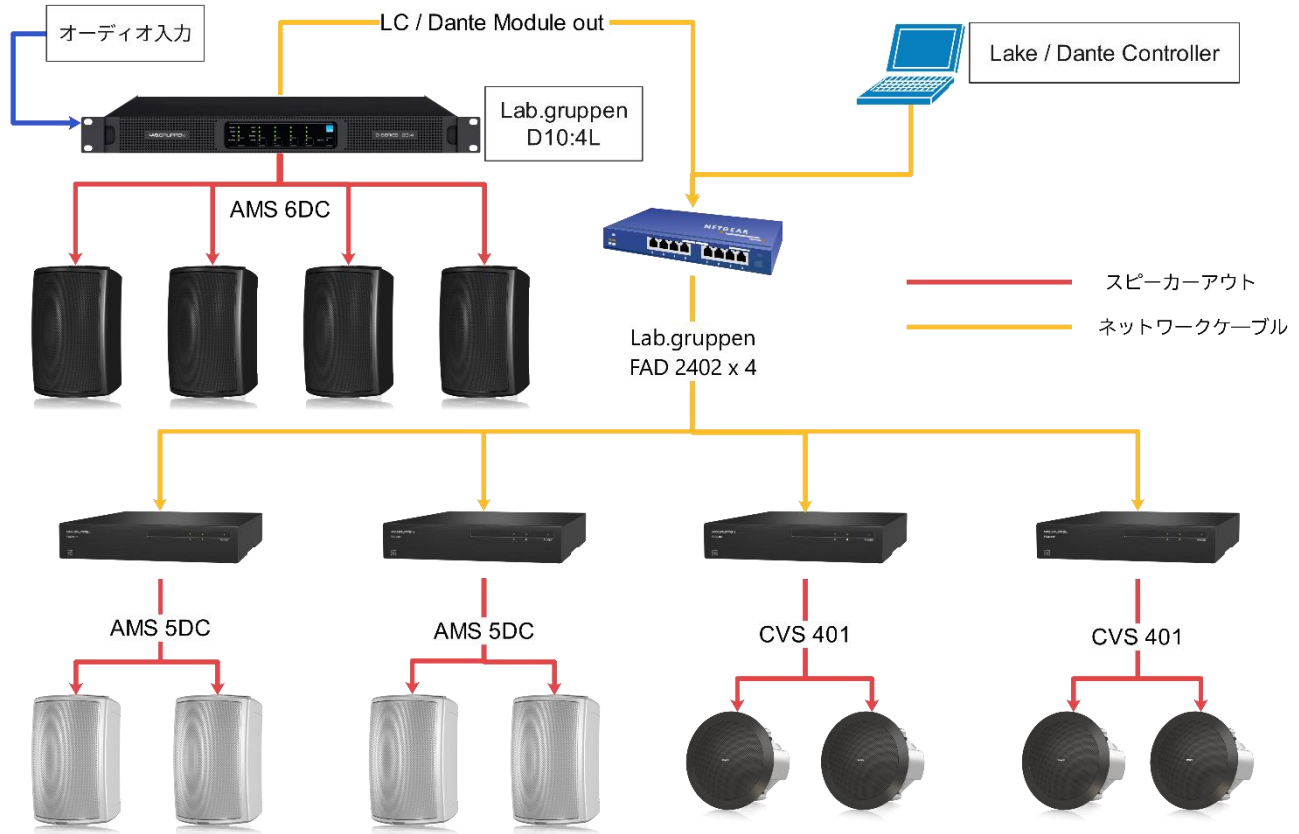
パワーアンプ制御で 4ch、その他 Dante OUT で 8ch を外部に割り当てて制御することができます



<Power Output Aux1~Aux4>

<Dante Output Aux5~Aux12>

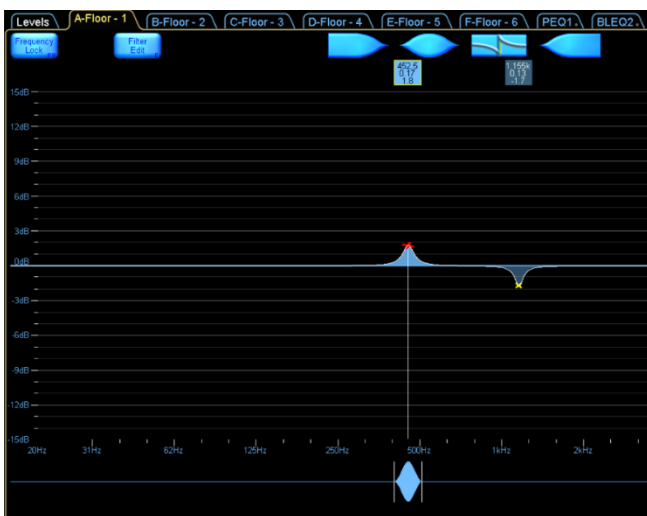
<システム構築例>



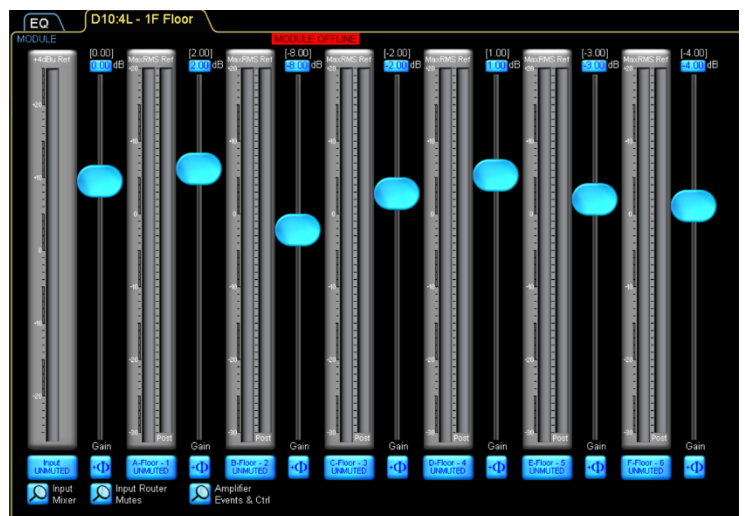
<ワンポイント>

一般的なシーリング用パワーアンプの簡易的なEQ機能は使用せず、Lake Processor でアライメントやボリュームなどの本格的な調整が行えます。ソフトウェアのダウンロードはビーテックダウンロードページ(Lake > ソフトウェア)から行えます。

<https://beetech-inc.com/download.html>



<Lake Processor EQ ページ>



<Lake Processor LEVEL ページ>